

令和5年度(2023)

出雲市下水道事業会計予算の概要

1. 予算の概要

出雲市下水道事業は、出雲市汚水処理施設整備計画に基づく未普及解消に向けた整備や老朽化した既存施設の更新に取り組んでいます。また、これまでの整備に要した企業債が多額であるため、一般会計からの補助金及び負担金の繰入が必要な状況にあります。

令和5年度予算の収益的収入では、使用料収入及び他会計負担金の減により、前年度に対して約3,900万円の減を見込んでいます。

収益的支出では、燃料費調整額の高騰による動力費、流域下水道管理運営費負担金の増及び企業債償還利息の減等により、前年度に対して約6,100万円の増としています。

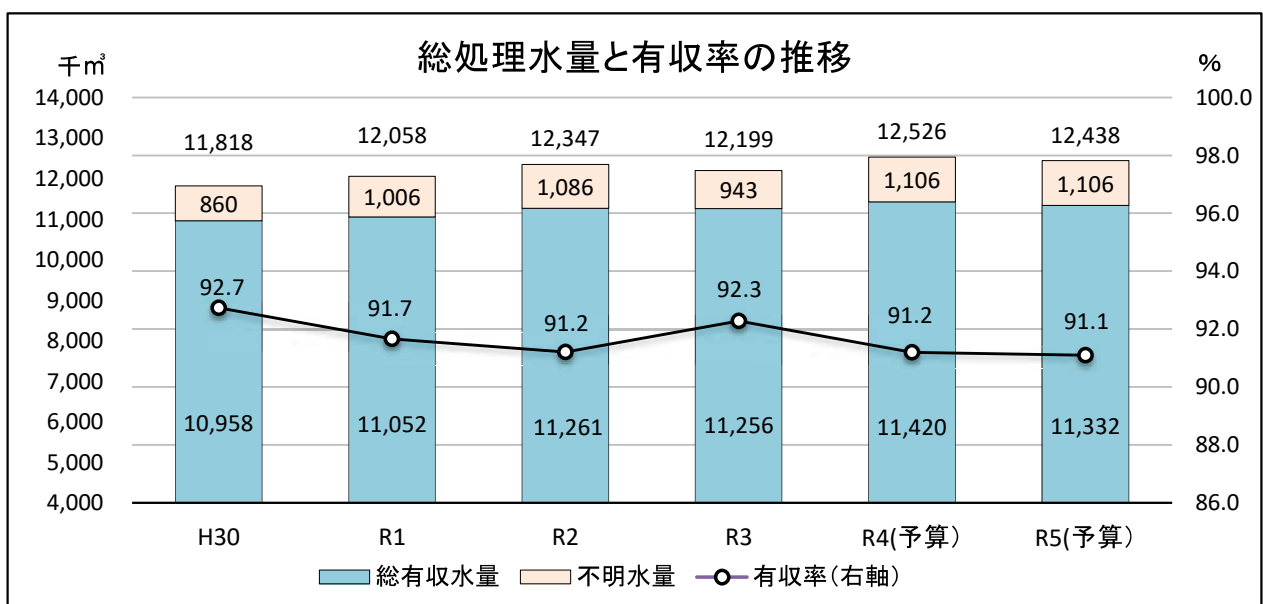
資本的収支では、公共下水道区域において管渠施設等の整備を引き続き行うほか、管渠更生工事、管口・TVカメラ調査等のストックマネジメント事業、マンホール更生工事等の改築更新事業に取り組みます。

2. 業務量

区 分	令和5年度予算	令和4年度予算	増 減	令和3年度決算
排水戸数(戸)	38,600	37,700	900	37,261
総処理水量(千 m^3)	12,438	12,526	△ 88	12,199
総有収水量(千 m^3)	11,332	11,420	△ 88	11,256
有収率(%)	91.1	91.2	△ 0.1	92.3

排水戸数は、市の人口動態を踏まえ、公共下水道事業における供用開始区域の拡大に伴う増加を見込んでいます。

年間総処理水量は、近年の実績及び排水戸数の動向等を考慮して、前年度より減少すると見込んでいます。



3. 収益的収入及び支出 (経営活動(汚水処理)のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和5年度 予算(税込)	令和5年度 予算(税抜)	令和4年度 予算(税抜)	増 減	令和3年度 決算(税抜)
下水道事業収益	6,401,000	6,193,900	6,233,270	△ 39,370	6,483,435
営業収益	2,423,580	2,216,490	2,236,550	△ 20,060	2,207,591
下水道使用料	2,277,000	2,070,000	2,087,000	△ 17,000	2,058,015
他会計負担金	145,739	145,739	148,974	△ 3,235	148,975
その他営業収益	841	751	576	175	601
営業外収益	3,977,220	3,977,210	3,996,520	△ 19,310	4,263,271
加入負担金	12,250	12,250	12,250	0	16,100
他会計負担金	695,618	695,618	716,336	△ 20,718	782,027
その他営業外収益	3,269,352	3,269,342	3,267,934	1,408	3,465,144
うち長期前受金戻入	3,269,262	3,269,262	3,267,862	1,400	3,296,099
特別利益	200	200	200	0	12,573
下水道事業費用	6,306,000	6,101,900	6,041,300	60,600	5,935,312
営業費用	5,362,000	5,219,700	5,131,500	88,200	4,981,569
職員給与費	281,600	281,380	273,026	8,354	252,028
動力費	221,210	201,100	146,729	54,371	142,012
流域下水道管理運営費負担金	830,060	754,600	742,000	12,600	701,251
減価償却費	3,472,000	3,472,000	3,469,000	3,000	3,454,233
資産減耗費	29,000	29,000	29,000	0	28,161
その他営業費用	528,130	481,620	471,745	9,875	403,884
営業外費用	931,440	869,870	898,470	△ 28,600	949,766
支払利息	689,400	689,400	717,388	△ 27,988	784,715
その他営業外費用	242,040	180,470	181,082	△ 612	165,051
特別損失	2,560	2,330	2,330	0	3,977
予備費	10,000	10,000	9,000	1,000	0
営業利益		△ 3,003,210	△ 2,894,950	△ 108,260	△ 2,773,978
純利益		92,000	191,970	△ 99,970	548,123

令和5年度の純利益は、動力費、流域下水道管理運営負担金の増及び企業債償還利息の減等により、前年度より約100,000千円減の92,000千円と見込んでいます。

【収入】

- 下水道使用料は、公共下水道事業の供用区域拡大に伴う増加が見込めるものの、その他事業区域での人口減少の影響による減少を見込み、20億7,000万円を計上
- 他会計負担金は、営業収益で雨水処理負担金約1億4,600万円を、営業外収益で企業債償還利息及び減価償却費等に対する一般会計負担金等約6億9,600万円を計上
- その他営業収益は、排水設備指定工事店指定手数料、堆肥販売収入等
- 加入負担金は、近年の新規加入の状況から35件分を計上

【支出】

- 職員給与費は、一般職35人の人件費
- 流域下水道管理運営費負担金は、宍道湖流域下水道の維持管理負担金
- その他営業費用は、管渠費、ポンプ場費、処理場費、料金徴収等の業務費、管理事務費等
- 支払利息は、企業債償還利息及び一時借入金利息
- その他営業外費用は、控除対象外消費税(特定収入に係る消費税額)

4. 資本的収入及び支出 (建設改良のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和5年度 予算(税込)	令和4年度 予算(税込)	増 減	令和3年度 決算(税込)
資本的収入	6,826,000	6,785,200	40,800	6,574,710
企業債	3,217,400	3,135,000	82,400	3,042,000
他会計補助金	2,292,050	2,332,140	△ 40,090	2,308,130
他会計負担金	486,085	483,376	2,709	478,218
国県補助金	633,600	663,700	△ 30,100	592,678
工事負担金	184,865	158,984	25,881	150,189
貸付金償還金	12,000	12,000	0	3,495
資本的支出	7,254,000	7,162,000	92,000	6,875,148
建設改良費	2,444,023	2,286,904	157,119	2,093,863
企業債償還金	4,796,977	4,863,096	△ 66,119	4,777,790
貸付金	12,000	12,000	0	3,495
予備費	1,000	-	1,000	-
収支不足額	△ 428,000	△ 376,800	△ 51,200	△ 300,438

【収入】

- 企業債は、公共下水道建設事業、改築更新事業及び宍道湖流域下水道の建設改良に係る負担金を対象として約15億1,100万円、企業債償還元金を対象として資本費平準化債等、約17億600万円を計上
- 他会計補助金は、企業債の元金償還に対する一般会計からの補助金
- 他会計負担金は、企業債の元金償還等に対する一般会計からの負担金
- 国県補助金は、公共下水道建設事業及び集落排水施設最適整備構想策定等に対する補助金
- 工事負担金は、公共下水道建設事業の受益者負担金及び国等の公共工事に伴う下水道施設の支障移転工事等負担金

【支出】

- 建設改良費は、公共下水道建設事業、ストックマネジメント事業、改築更新事業及び集落排水施設最適整備構想策定等に係る経費及び宍道湖流域下水道の建設改良に係る負担金
- 企業債償還金は、企業債の元金償還金

【主要建設事業一覧】

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
公共下水道建設事業	1,258,810	・出雲市汚水処理施設整備計画に基づく整備工事 L=8.30km マンホールポンプ設置3箇所 計23工事
出雲地域	783,010	・下大津処理分区高岡工区管渠工事ほか 計12工事 L=4.60km マンホールポンプ設置1箇所
平田地域	153,800	・平田処理分区本田工区管渠工事ほか 計3工事 L=0.53km マンホールポンプ設置1箇所
大社地域	266,700	・杵築処理分区四軒家南工区外管渠工事ほか 計4工事 L=2.20km
斐川地域	55,300	・直江処理分区北田波工区外管渠工事ほか 計4工事 L=0.97km マンホールポンプ設置1箇所

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
ストックマネジメント事業	99,000	・ポンプ場詳細設計(公共3箇所) ・管渠更生工事(出雲・斐川地域) L=0.48km ・管口・TVカメラ調査(湖陵・斐川地域) L=21.04km
機能強化工事(LTE化)	20,000	・異常通報装置更新(農集20箇所)
改築更新事業	177,200	・マンホール更生工事(公共1箇所) ・管渠更生工事(斐川地域) L=0.81km ・異常通報装置更新(特環3箇所)
農業集落排水施設最適整備構想策定	12,500	・最適整備構想策定(鳶巣地区ほか 計9地区)
流域下水道建設負担金	327,400	・宍道湖流域下水道の建設費負担金 【県工事内容】処理場改築工事等 635,020千円 マンホール更生工事等 332,098千円

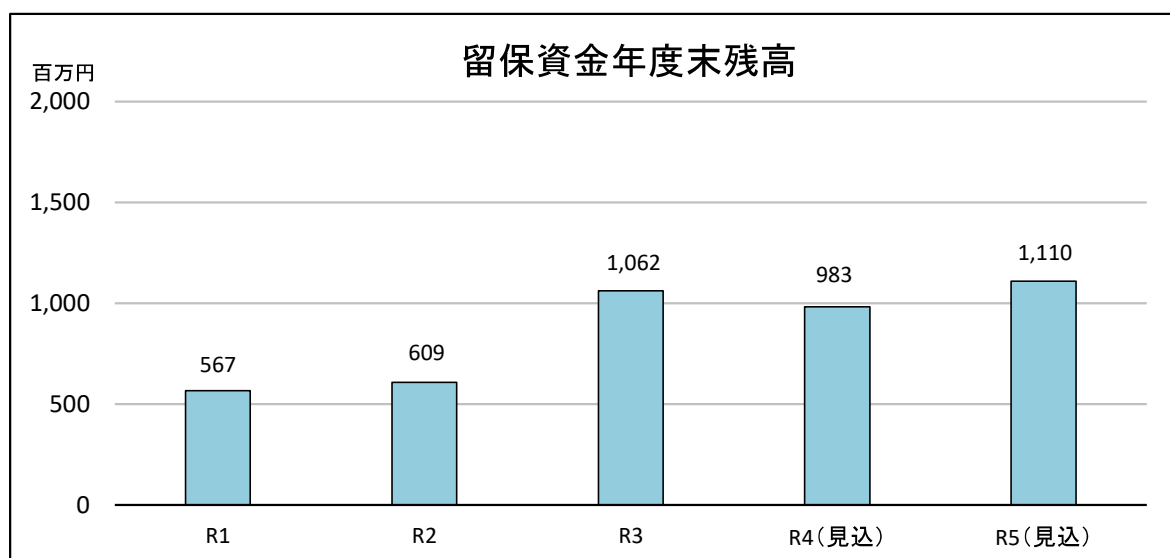
5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

財源内訳	令和4年度末見込額	令和5年度中増加額	令和5年度中減少額	補てん額	令和5年度末見込額
建設改良積立金	852,533	161,970	0	0	1,014,503
損益勘定留保資金	0	430,509	0	394,803	35,706
消費税資本的収支調整額	0	33,197	0	33,197	0
当年度純利益	161,970	92,000	161,970	0	92,000
合 計	1,014,503	717,676	161,970	428,000	1,142,209
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	31,694				32,481
留保資金残高	982,809				1,109,728

令和4年度末の留保資金残高は、前年度からの繰越事業を含む建設事業の財源不足への補てんを行った結果、約9億8,300万円になると見込んでいます。

令和5年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用し、令和5年度末には約11億1,000万円になると見込んでいます。



※令和元年度から公営企業化しました。



①公共下水道建設事業

